

人口動態の変化に応じた 経済・行政の改革

さいたま活性化サロン

講演資料

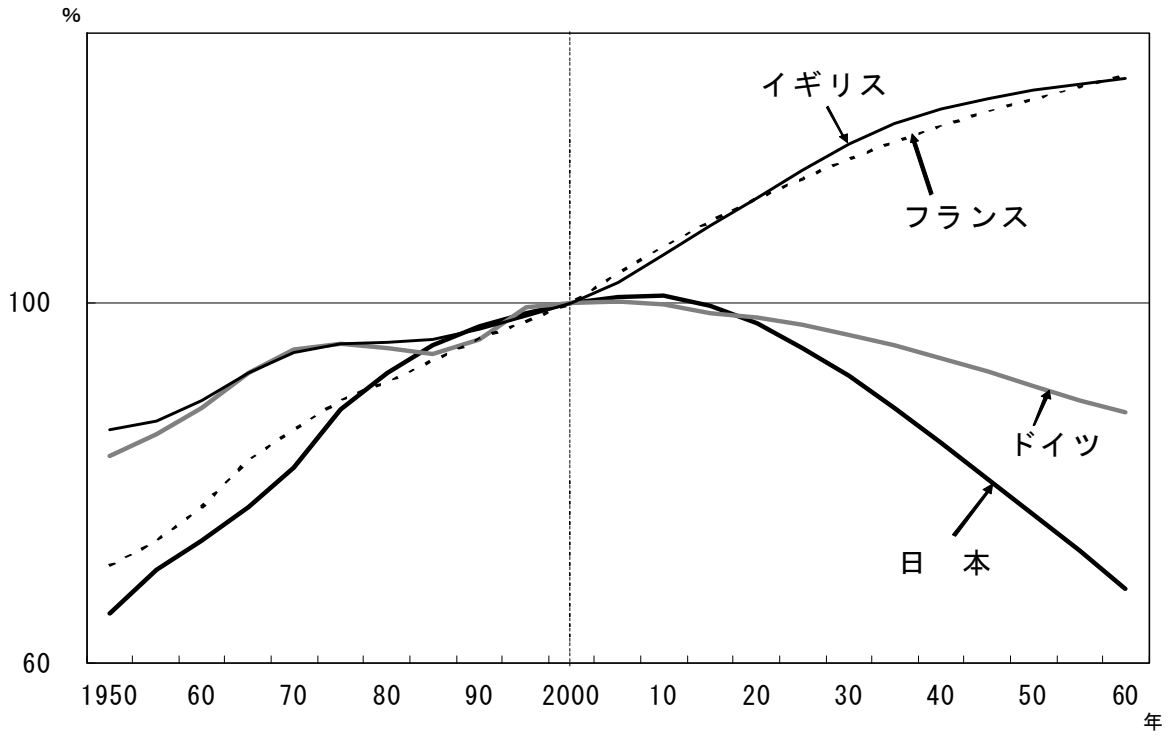
政策研究大学院大学名誉教授
国際都市研究学院理事長

松 谷 明 彦

2016年2月10日

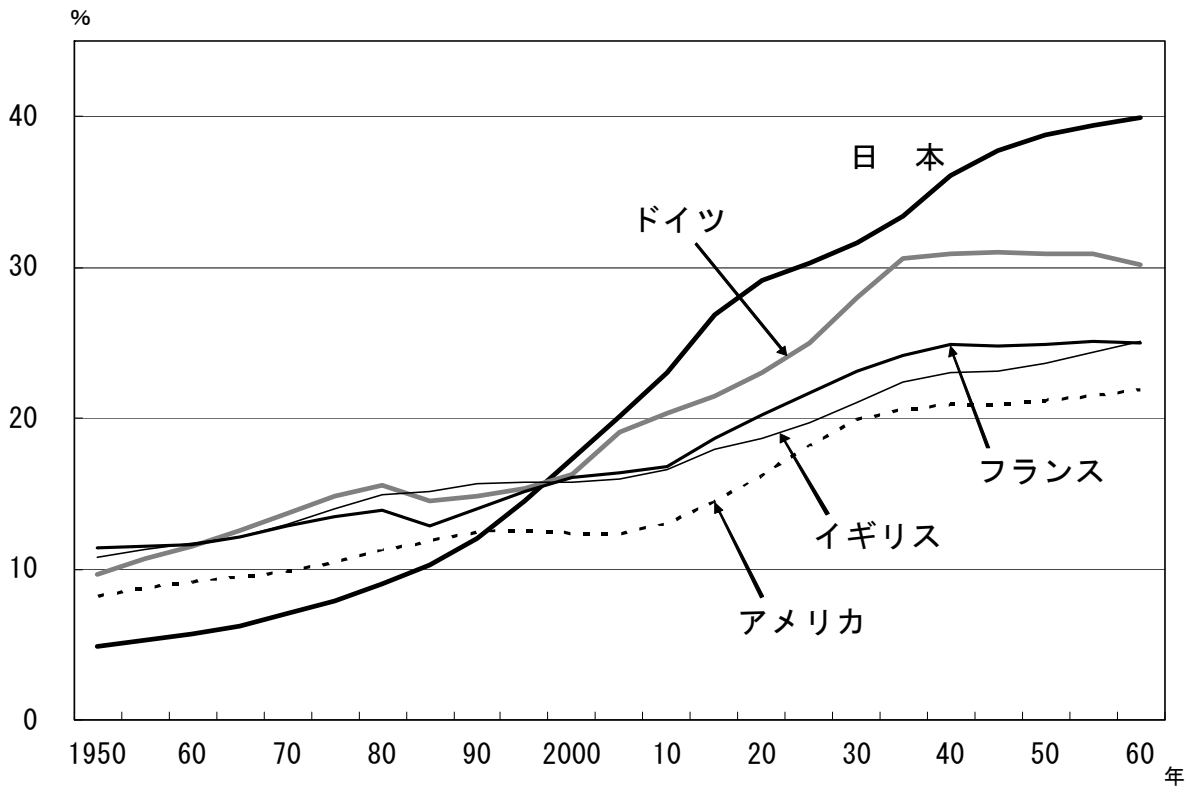
人口の減少と高齢化の速度が速すぎる

1 主要先進国の総人口の実績と予測



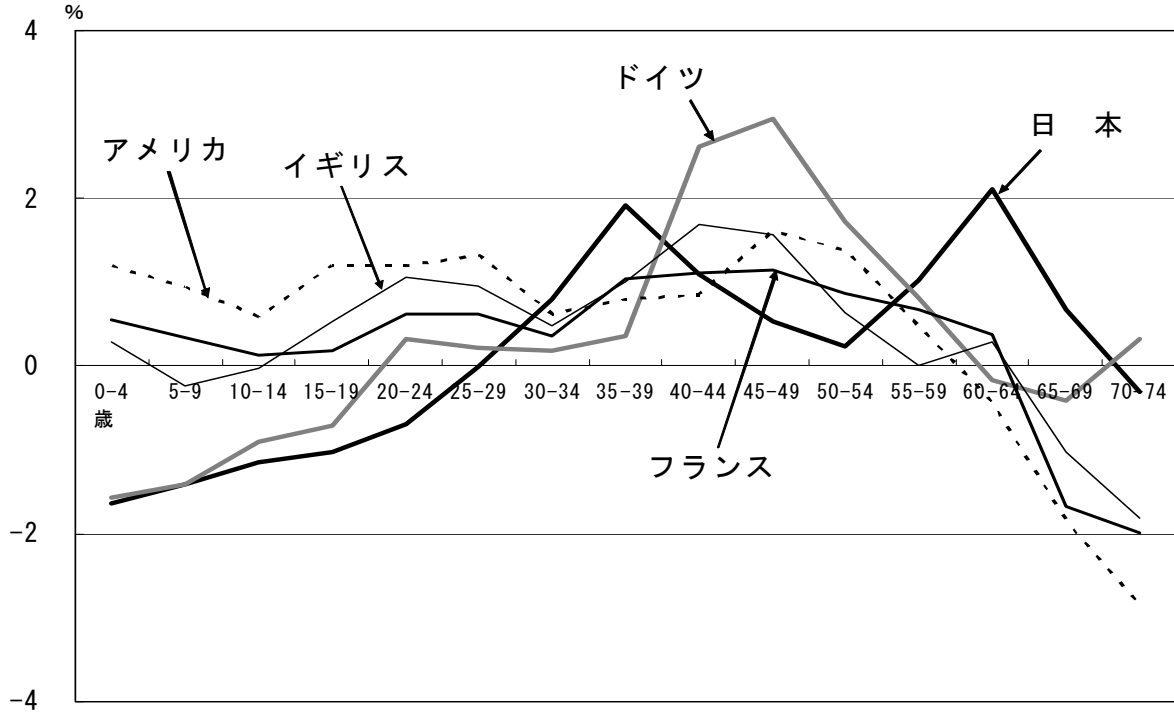
Akihiko Matsutani Ph. D.

2 主要先進国の人口高齢化率の実績と予測



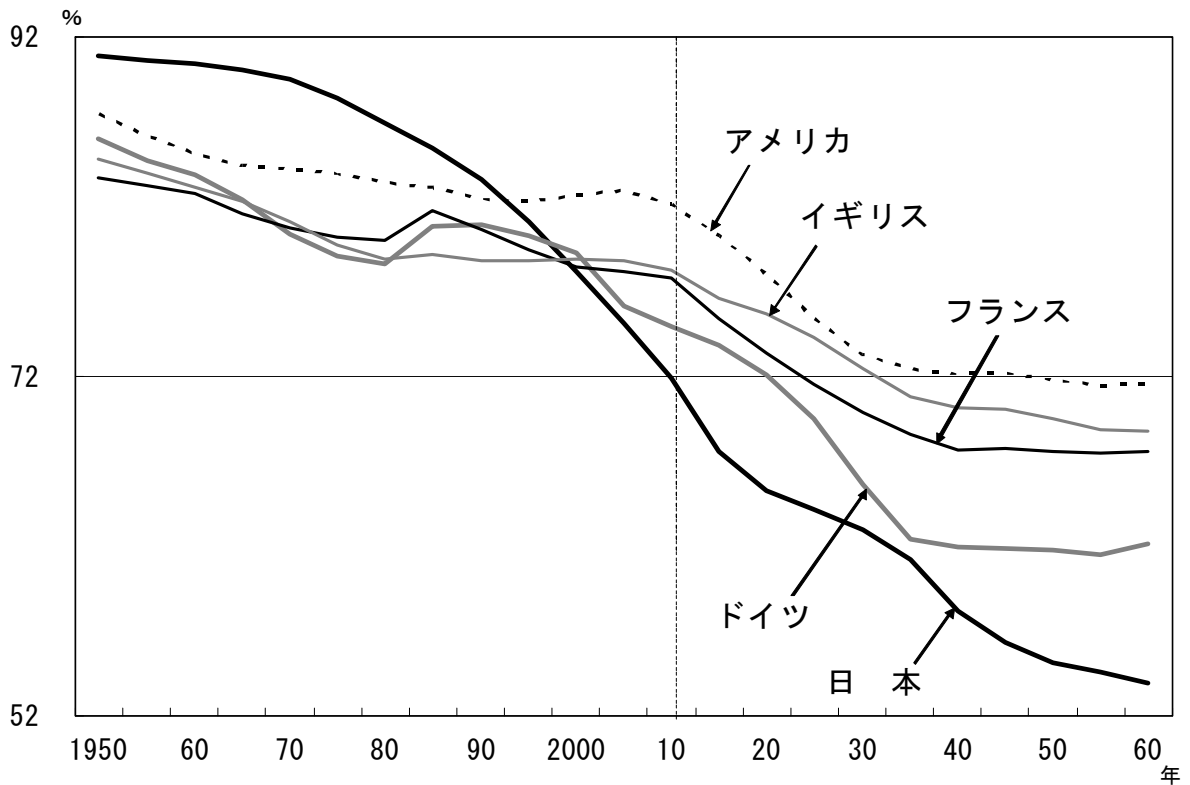
速すぎるのは「いびつな」人口構造が原因

3 主要先進国の年齢階級別人口構成（2010年）



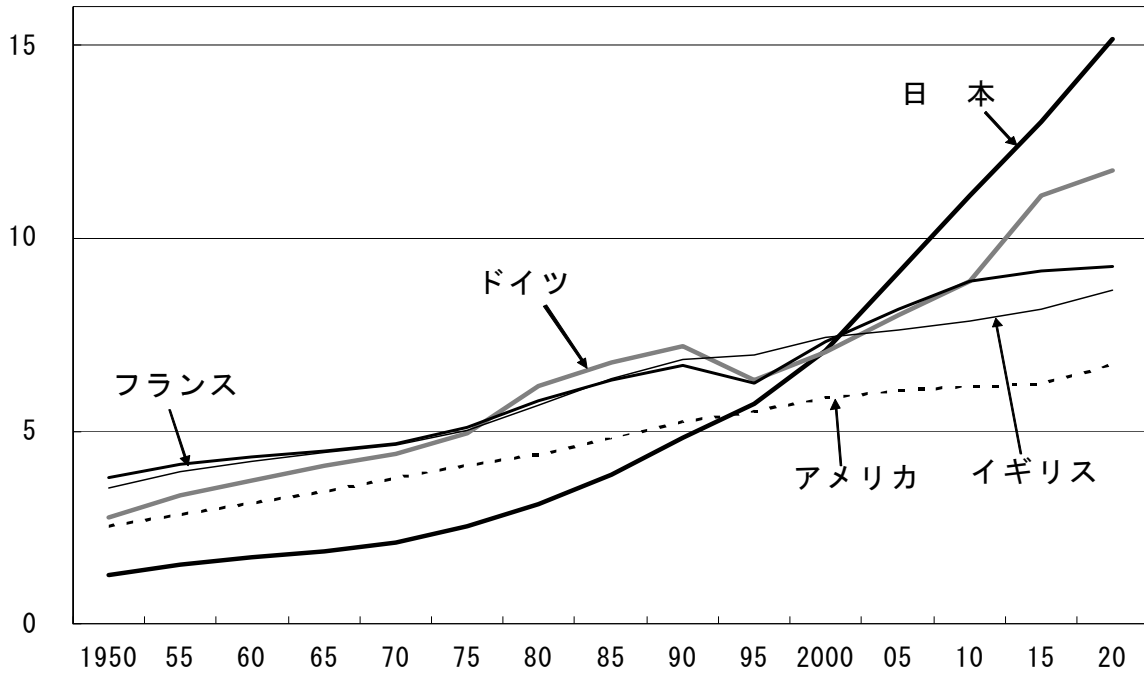
Akihiko Matsutani Ph. D.

4 20~64歳人口の20歳以上人口に占める比率の実績と予測



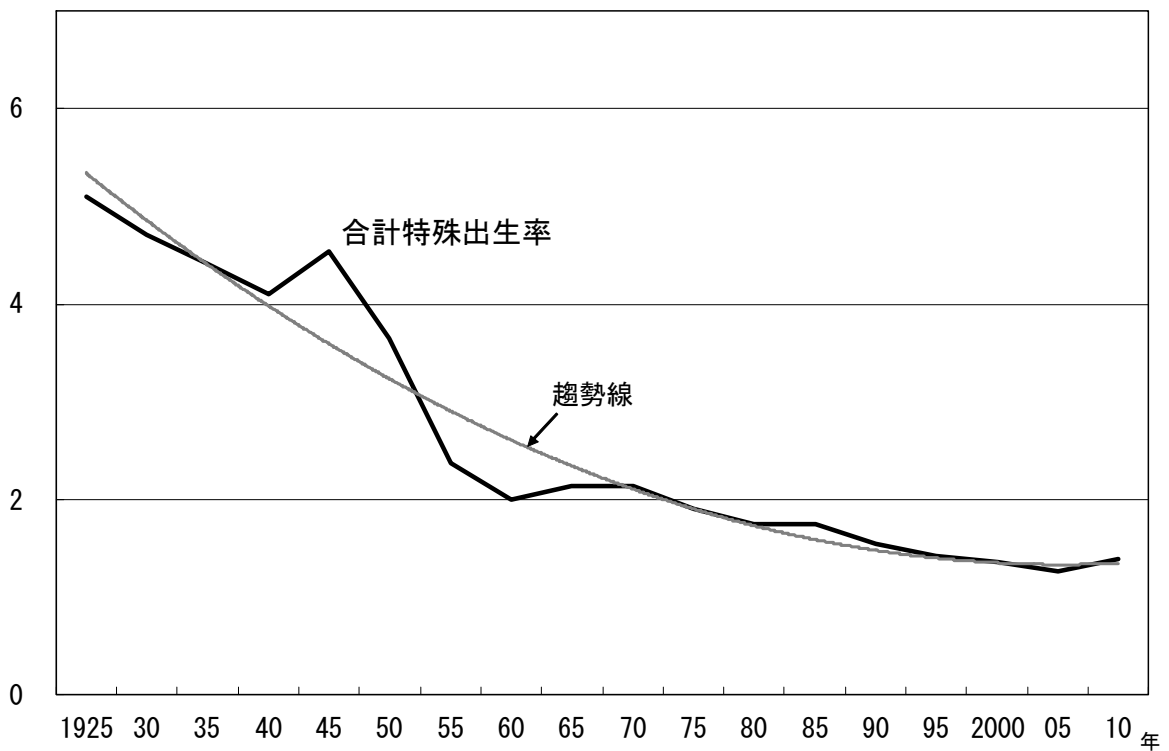
「いびつな」人口構造は政府の人口政策が原因

5 主要先進国の後期高齢者比率の実績と予測



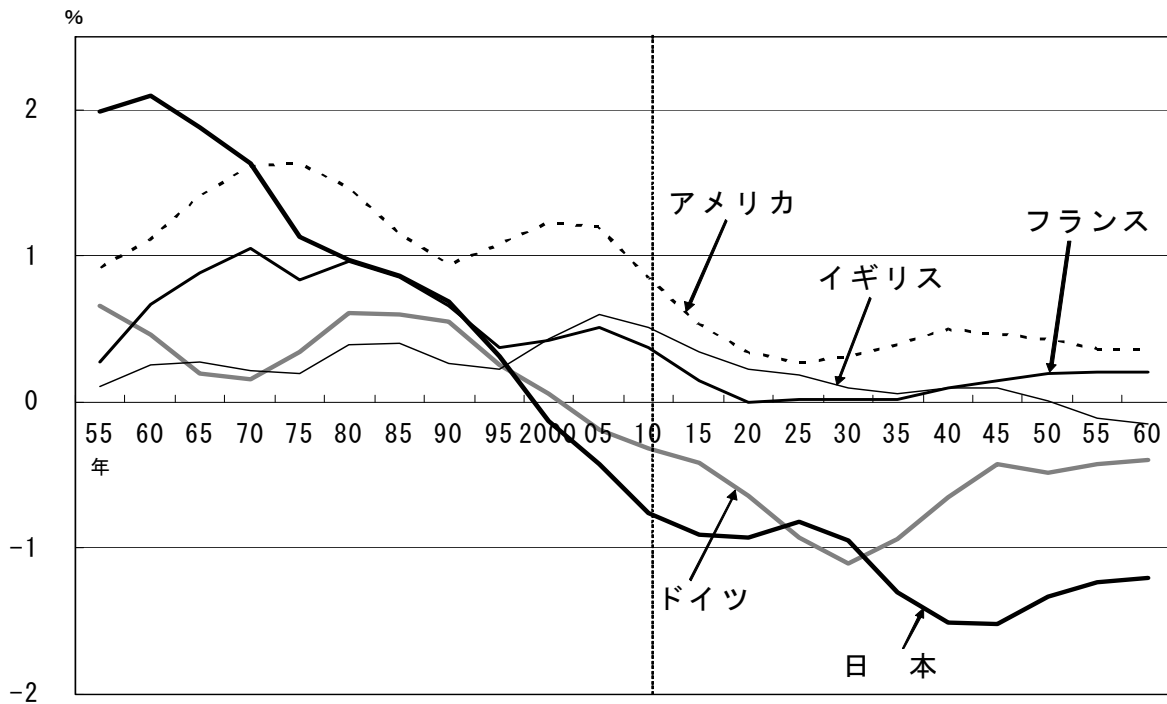
Akihiko Matsutani Ph. D.

6 日本の合計特殊出生率の推移



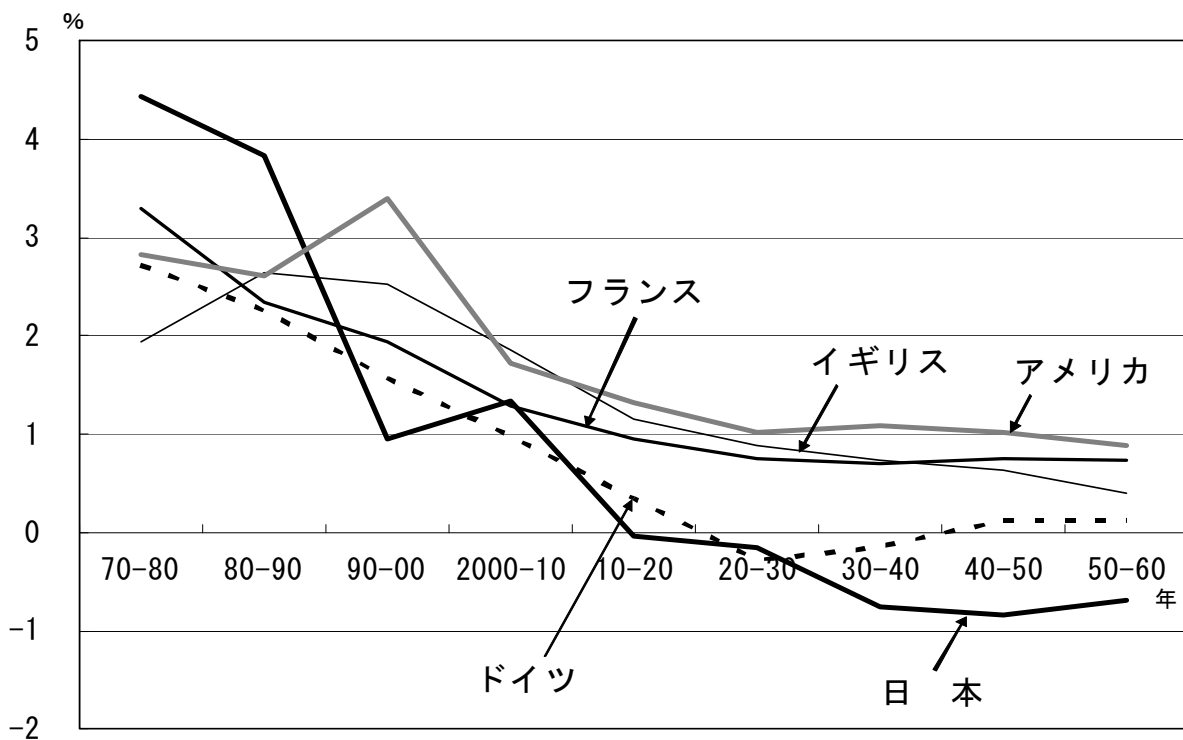
最も低い日本の経済成長率、経済が縮小するのは日本だけ

7 主要先進国の生産年齢人口増減率の実績と予測



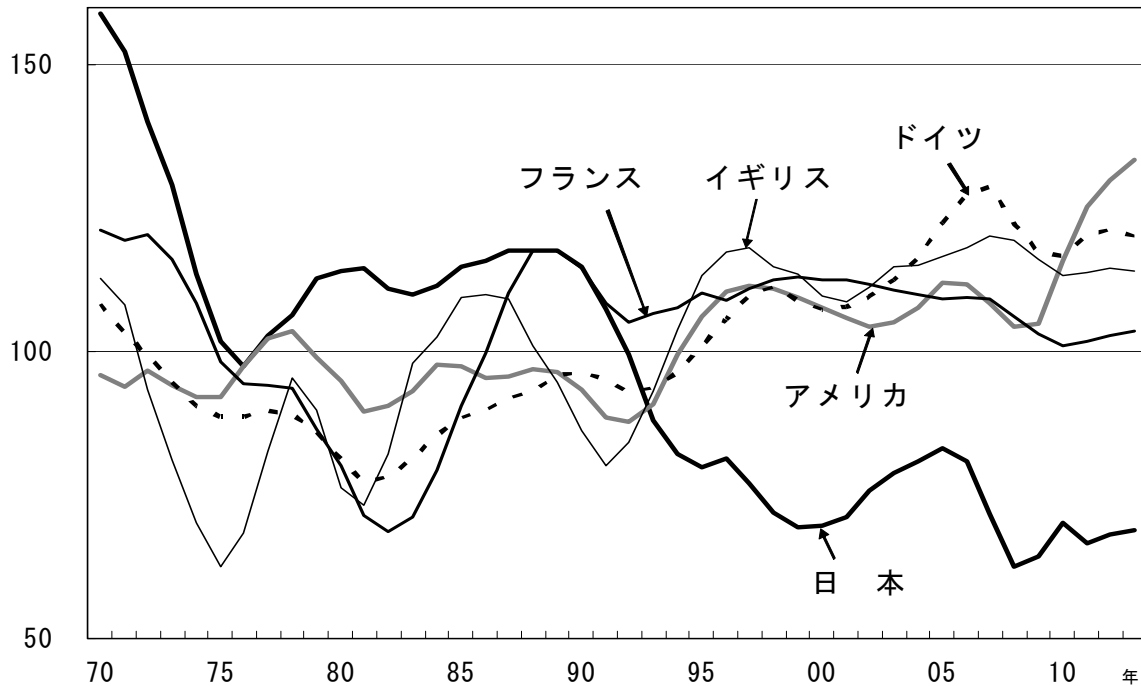
Akihiko Matsutani Ph. D.

8 主要先進国の経済成長率(実績)と自然成長率の予測



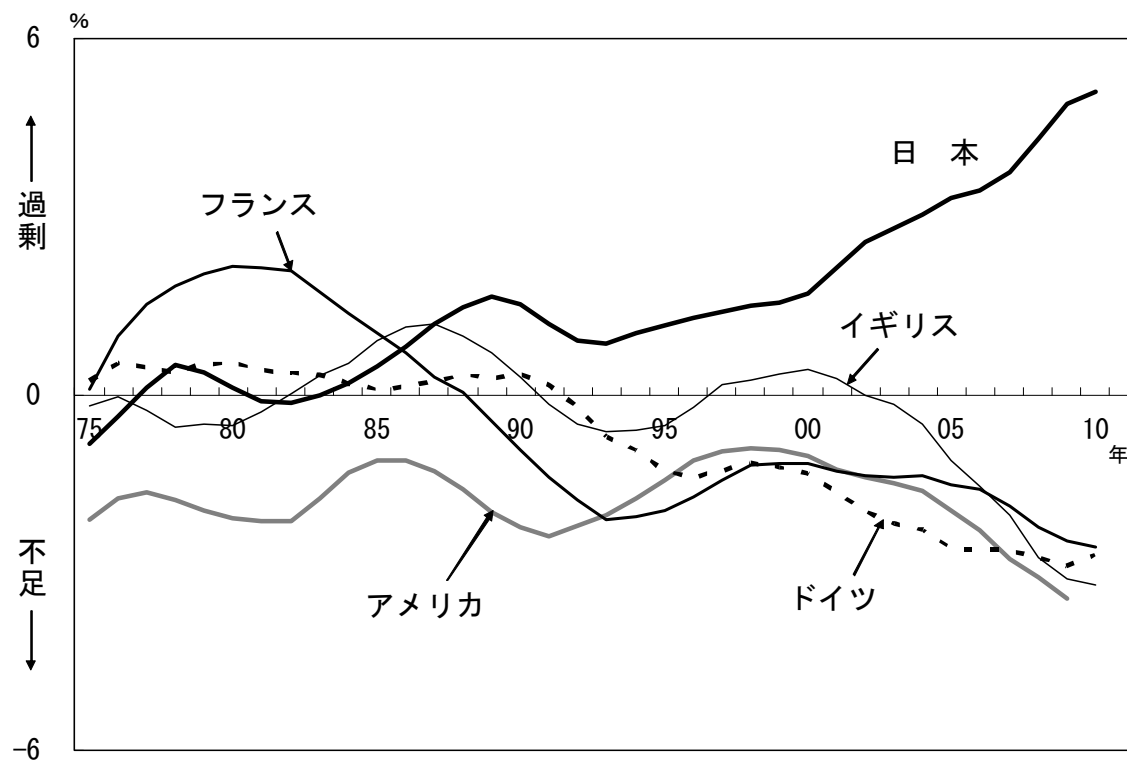
命脈尽きた日本モデル、模倣と過度の機械化が問題の根源

9 主要先進国の企業営業余剰の対GDP比の推移



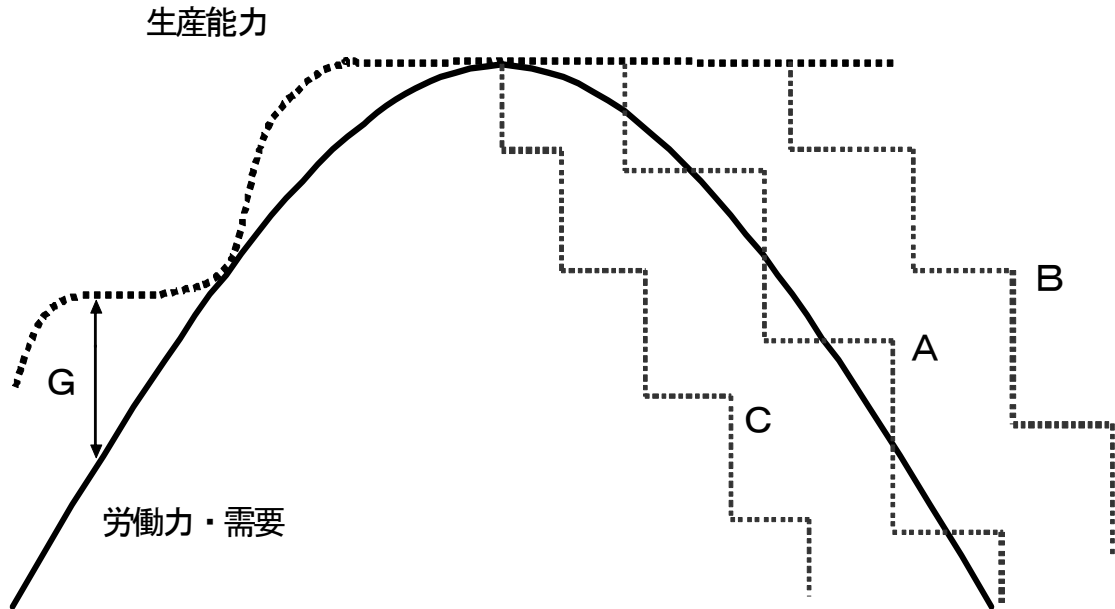
Akihiko Matsutani Ph. D.

10 主要先進国の企業設備の過不足状況



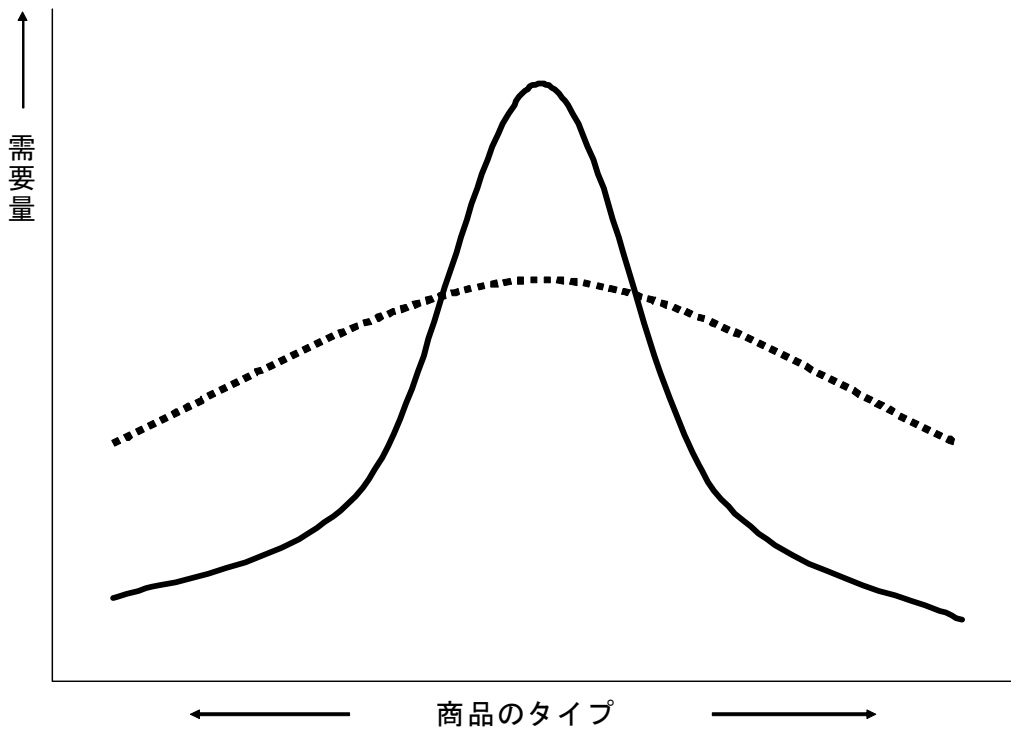
遊休設備が恒常化、消費需要は多様化する

1.1 生産能力と労働力・需要との関係



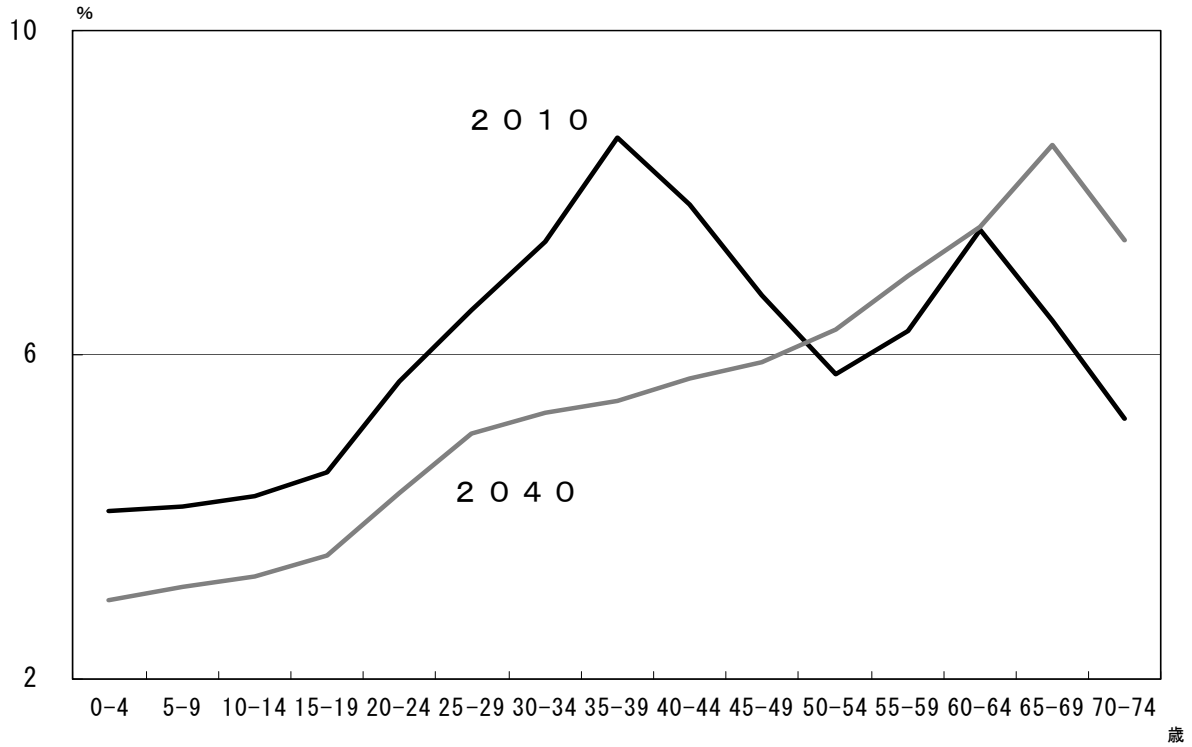
1.2 人口減少時代の消費需要の多様化

Akihiko Matsutani Ph. D.



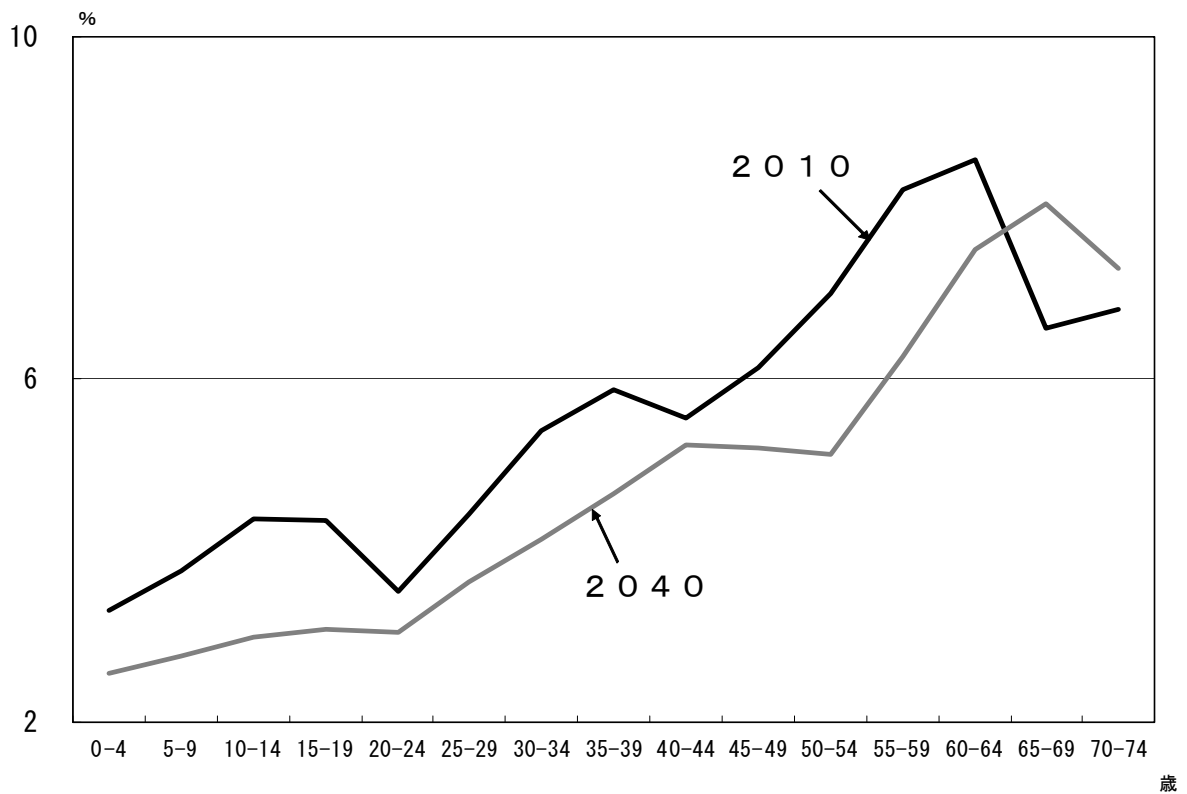
集中から分散へ、人の流れが変わる

1.3 東京圏の年齢階級別人口構造の変化（2010→2040年）



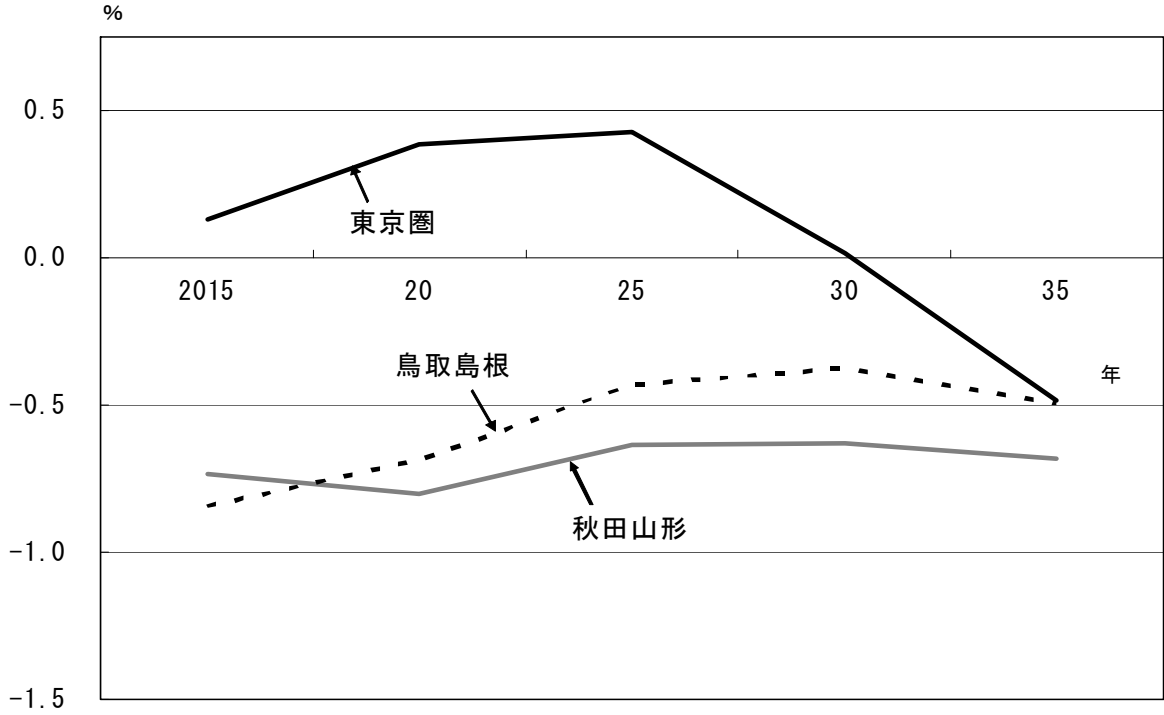
1.4 秋田県の年齢階級別人口構造の変化（2010→2040年）

Akihiko Matsutani Ph. D.



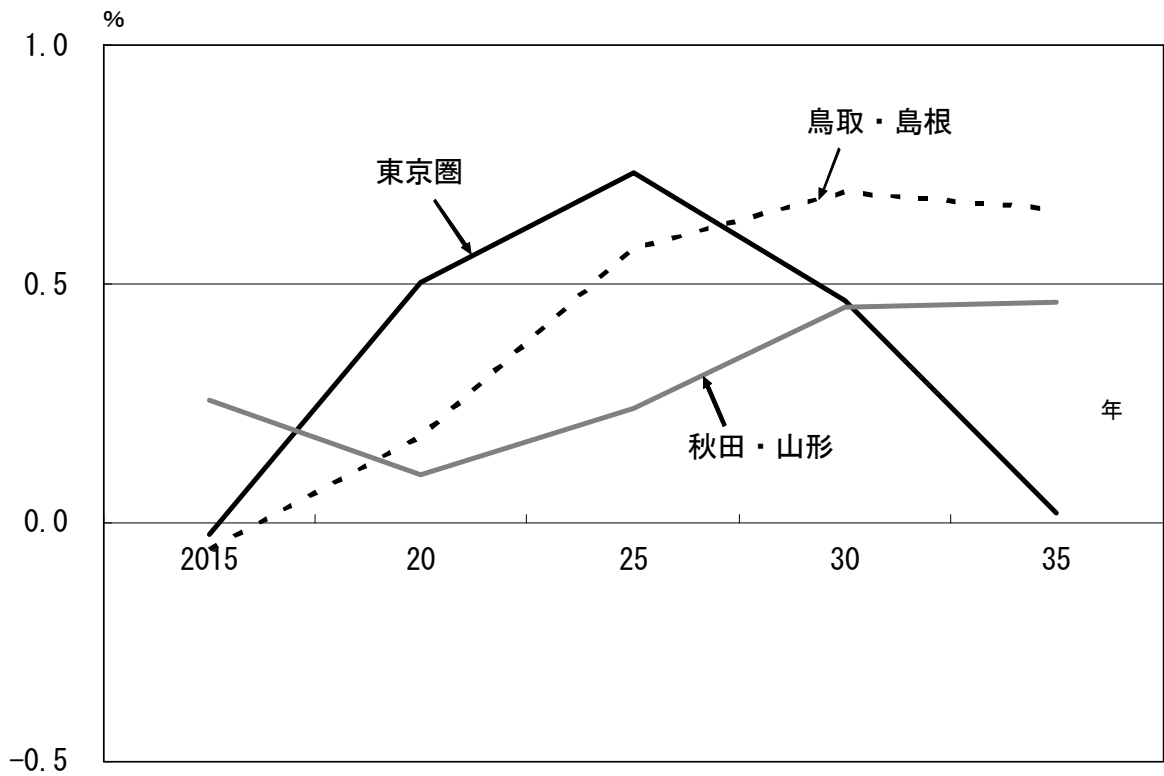
転機は2020年代後半に

1.7 東京圏と地方の経済成長率の予測



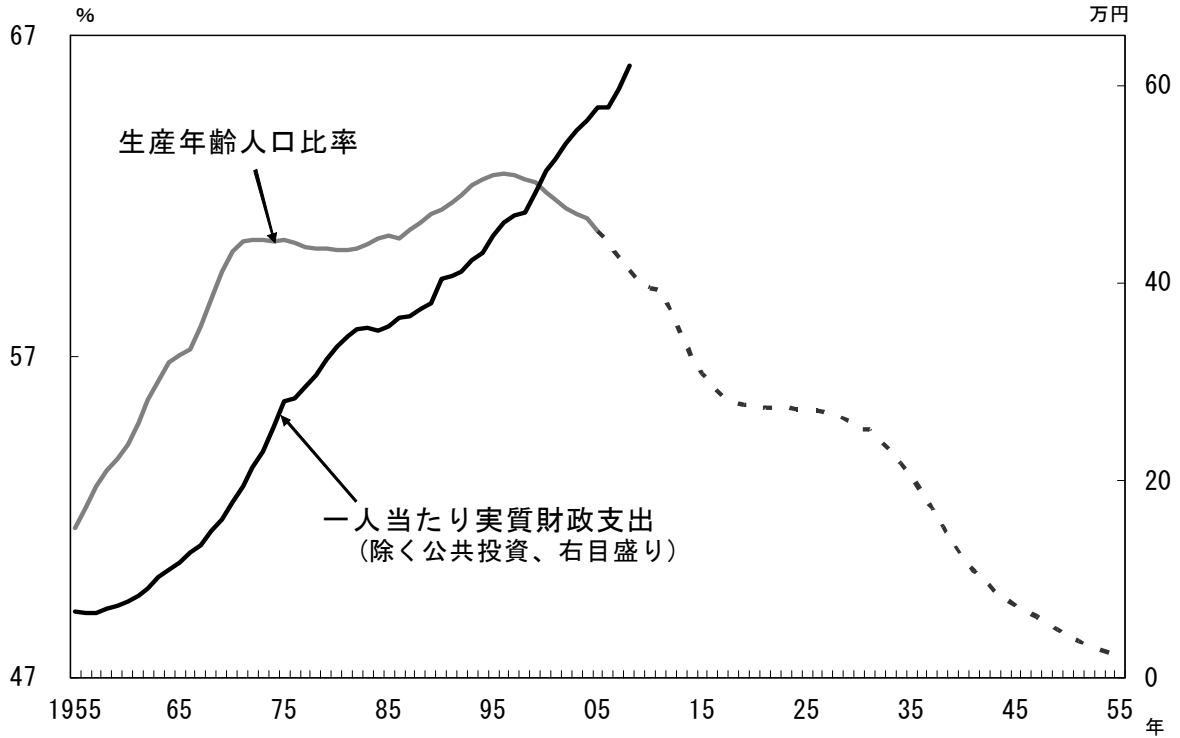
1.8 東京圏と地方の一人当り県民所得の予測

Akihiko Matsutani Ph. D.



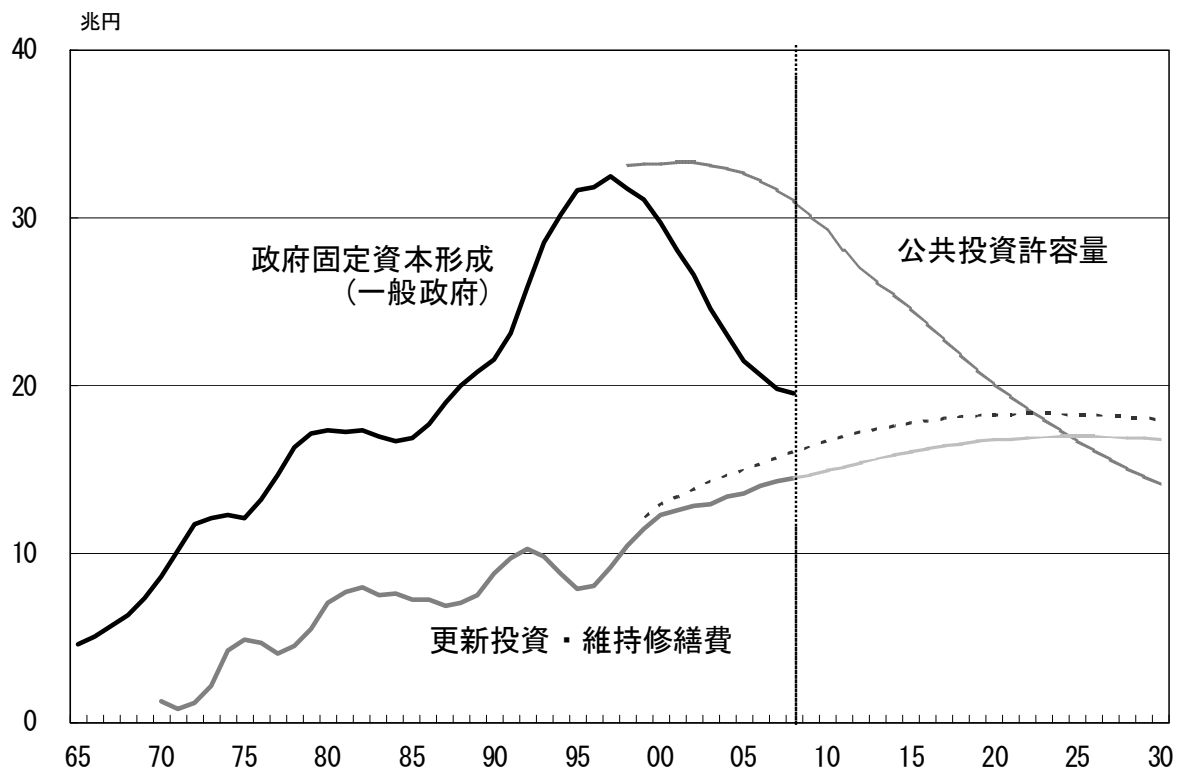
社会の税負担能力も公共投資能力も大幅に低下

19 一人当たり財政支出（国・地方純計）と生産年齢人口比率



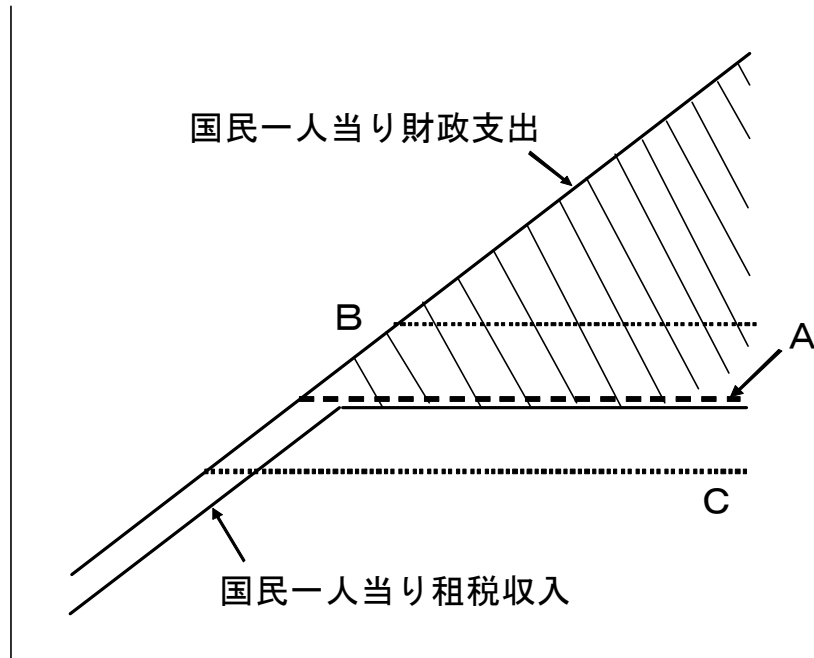
20 公共投資額(実績)と公共投資許容量の予測

Akihiko Matsutani Ph. D.



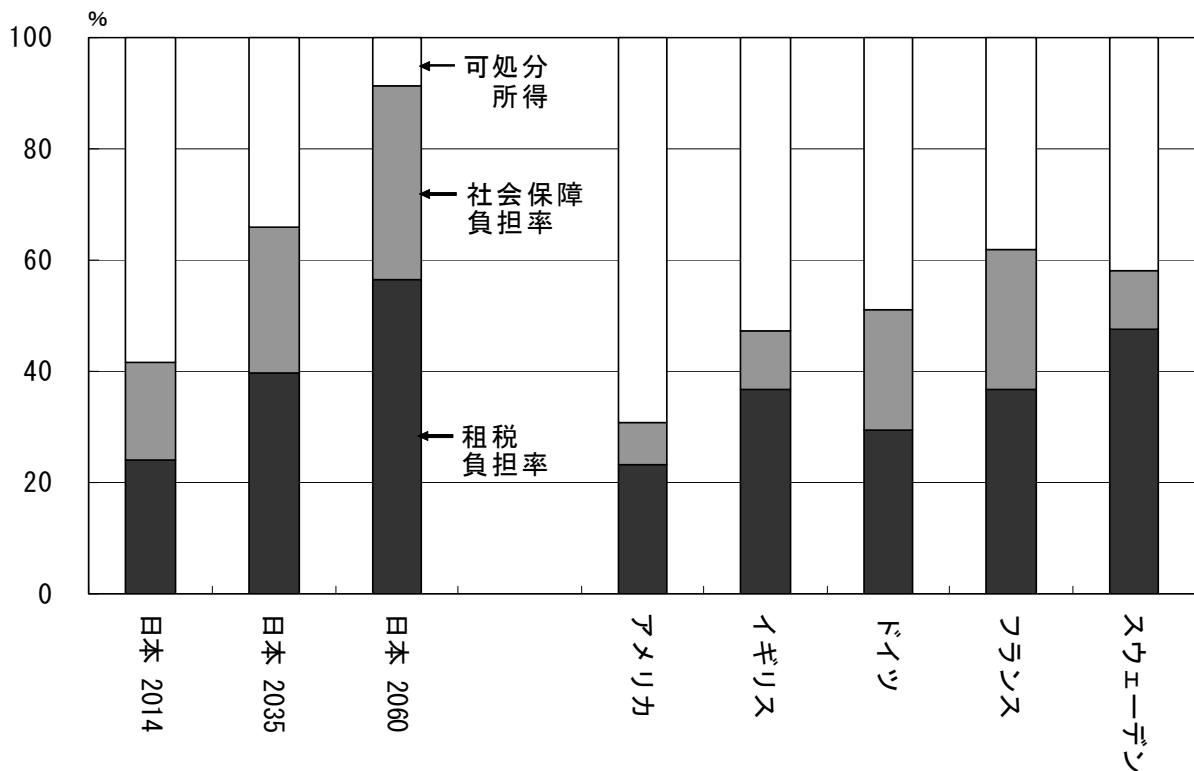
増税は誤り、財政支出の縮小が財政再建の唯一の方法

2.1 人口減少時代の財政運営



Akihiko Matsutani Ph. D.

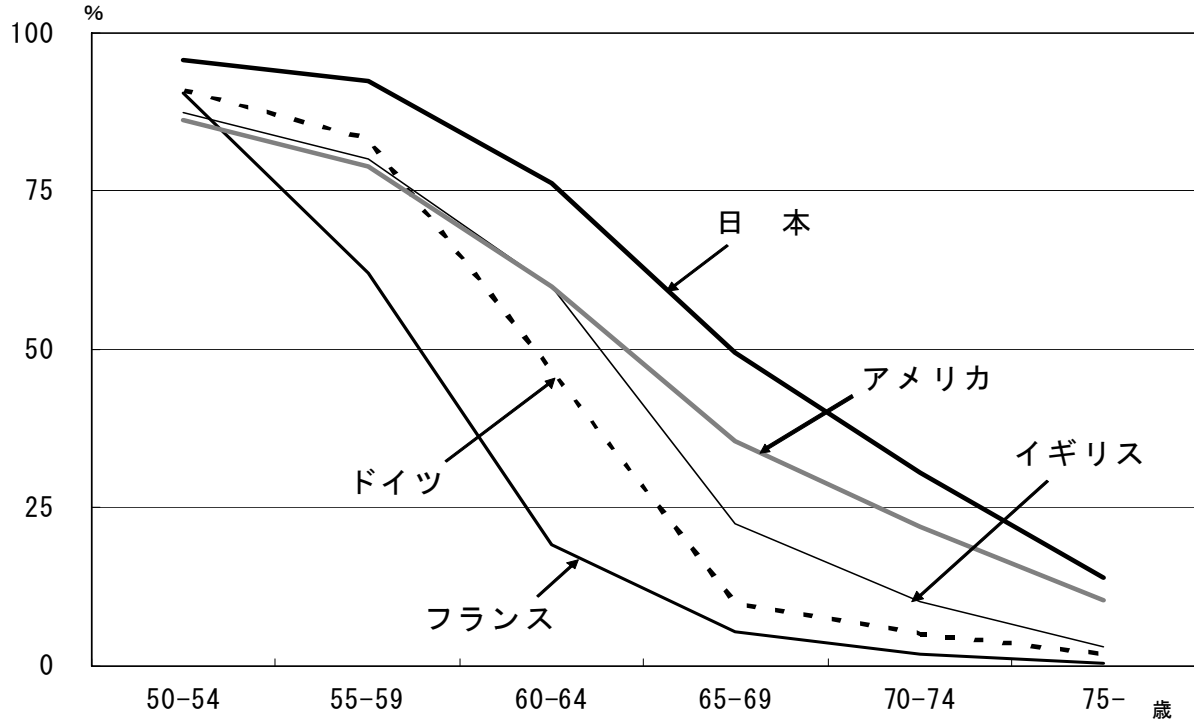
2.2 税・社会保障負担率の予測と国際比較



(注) 日本の予測値は、現在の財政支出の国民所得比と社会保障給付水準が維持された場合

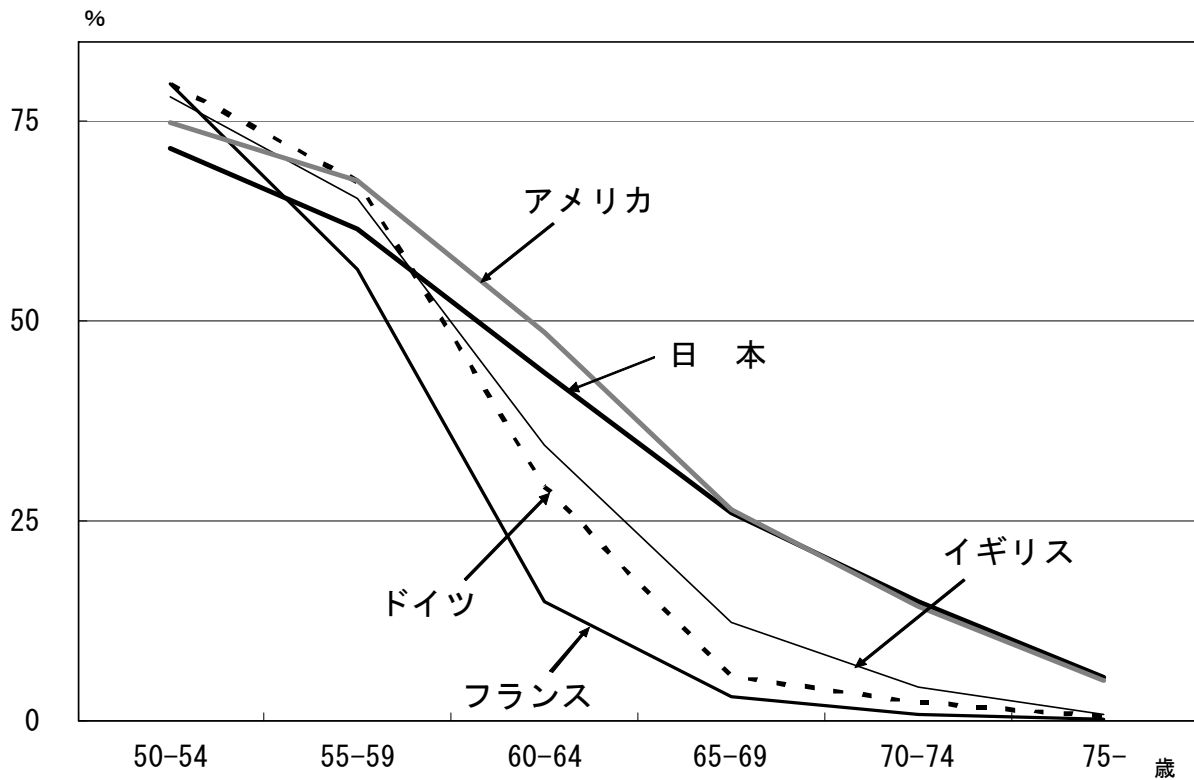
歳をとったら働かなくて済む社会が良い社会

2.3 主要先進国の年齢階級別労働力率（男性）



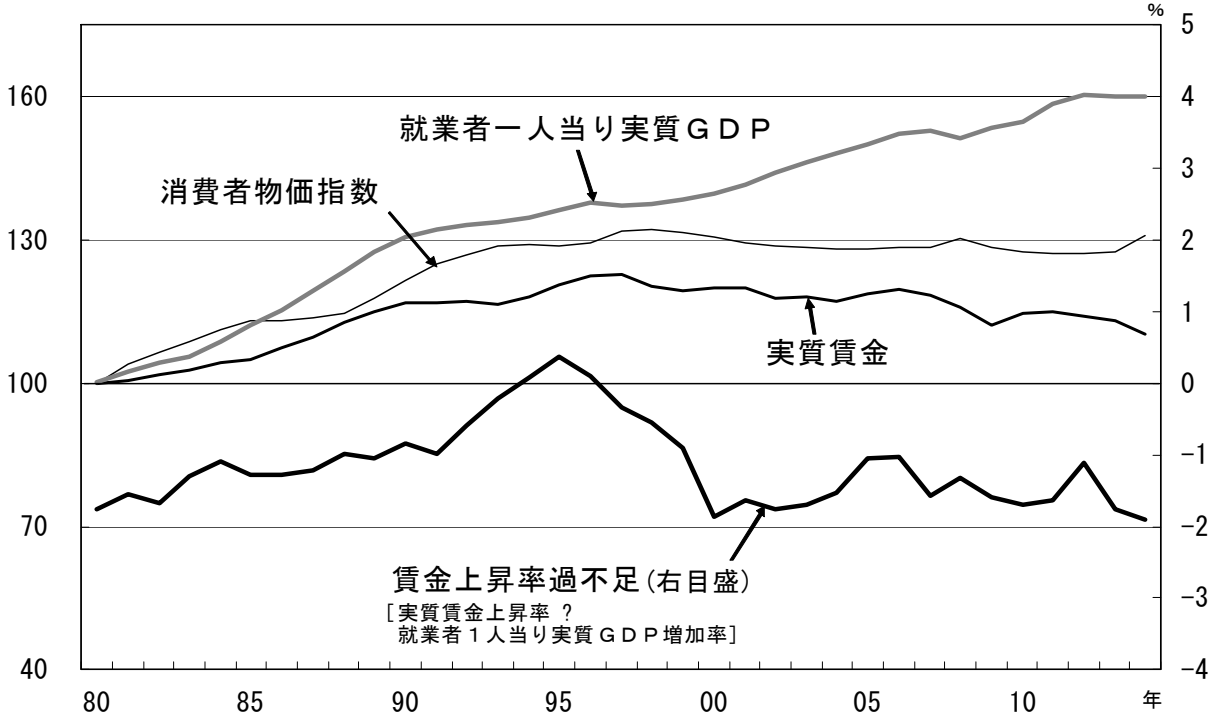
Akihiko Matsutani Dr. Eng.

2.4 主要先進国の年齢階級別労働力率（女性）



企業の責務は付加価値率の向上と賃金水準の向上

2.5 労働生産性上昇率と実質賃金上昇率の比較（日本）



Akihiko Matsutani Dr. Eng.

2.6 労働時間と時間当たり賃金水準の国際比較

